



おもてなしの心でお客様の「声」をITサービスに生かす



所長
本 佳史
ふくもと けいじ

愛媛センターは、平成15年10月に開設し、今年おかげさまで満10年を迎えます。歴史と文学の街松山は、坊っちゃん列車の汽笛の音、松山城から吹き降ろす風、温泉地へ向かう多くの観光客の笑顔に松山市民のおもてなしの心が間近に感じられるところです。

国民健康保険団体連合会さまの電算処理業務全般である、レセプトデータ読み込みとエントリー、アプリケーション開発やシステム保守・運用などに対し、当センターはITメインベンダーとして、統合的な各種情報サービスを提供しています。

国民健康保険を取り巻く様々な環境の変化に伴い、ITが果たす役割はますます大きくなってきています。そしてその対処には、時に即時性が求められます。

安定した電算処理業務を行うためインテックおよびインテックソリューションズパワー、そしてビジネスパートナー各社からなる総勢約50名のメンバーがお客さま先に常駐し、お客さま

の「声」をサービス全般に反映し生かすことができるよう日々専心しております。

春を迎え4月からお客さまの近くに事務所を移転し、新たな船出をいたしました。これを機にますますお客さまの「声」を大切にし、一致団結して邁進して参る所存でございます。



瀬戸内海を船で通勤する社員



夢と希望を乗せて走る 坊っちゃん列車



松山市のメインシンボル 道後温泉本館